

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業用地検討委員会
周辺住民意見交換会 意見及び質問

地区名	造谷地区（候補地：岩戸地区）			
開催年月日	平成26年6月7日（土）			
開催時間	19:00～21:00			
開催場所	造谷地区構造改善センター			
出席者	住民	18名（造谷地区住民）		
	学識経験委員	（一社）廃棄物処理施設技術管理協会 会長		委員長 寺嶋 均
		持続可能な社会をつくる元気ネット 事務局長		鬼沢 良子
	委員	印西市公募住民		—
		白井市公募住民		副委員長 柴田 圭子 渡邊 忠明
		栄町公募住民		玉野 辰弘
		印西CC環境委員会住民側委員		—
	事務局	印西地区環境整備事業組合		事務局長 杉山 甚一
		印西CC	次期施設推進班	工場長 大須賀 利明
			次期施設推進班	主査 浅倉 郁
	次期施設推進班	主査補 中野 竜一		
		副主査 川砂 智行		
印西市	環境経済部クリーン推進課 次期中間処理施設対策室長事務取扱		担当課長 山口 隆	

1. 候補地の募集に関すること	
①	結果論かもしれないが、白井市と栄町から応募が全然なかったのか？
②	草深地区の候補地が取り下げになった理由は何か？
2. 候補地の比較評価に関すること	
①	評価項目No.14の周辺住民の理解度・協力度をどのように評価するのか。 また、反対者の人数の多少で評価が変わるのは、あってはならない話である。
②	評価項目No.15の経済性について、整備計画が固まっていないのに評価が可能なのか？
③	総事業費という観点で考えると、候補地によって地域振興事業の内容が変わるはずだが、現段階で経済性の評価が可能なのか？
④	造谷地区の意見交換会は、この場限りで終わりなのか？
⑤	今後、仮に、随時説明会や意見交換会を行うという話になった際、建設予定地の決定時期がずれ込んでも問題ないのか？
⑥	評価項目No.14の周辺住民の理解度・協力度と、No.15の経済性は、事前に評価基準をきちんと決めるべき。 要は、きちんとした物差しを決めたうえで評価しないと收拾がつかなくなり、最終的には用地検討委員会委員が責められる立場になるので、気をつけたほうが良い。 また、周辺住民の理解度・協力度について町内会の意見を公平に反映させるのであれば、人によって物差しが違うことから、用地検討委員会委員は全ての意見交換会に出席する必要がある。
⑦	多分、定性的な部分を定量化するのは難しいのでは？
⑧	定性的な評価項目の配点を多くすることは、一般的には余りやらない。
3. 施設の公害防止に関すること	
①	去年の夏、清掃工場の煙突から排出されるダイオキシンが雨に触れることで地上に落下し、キャベツや白菜などの葉物野菜に付着することで、特に清掃工場から2kmの範囲で被害が生じるとした趣旨のテレビ番組が放映されていたので、葉物野菜に対するダイオキシン被害が心配である。 印西市の住民として清掃工場をどこか造らなければならないことは心配しているが、なるべくならば、そうした理由により畑の少ない地域で整備して欲しい。 なお、稲は殻があることから、降雨によるダイオキシン被害は大丈夫との番組内容であった。
4. ごみ収集車に関すること	
①	クリーンセンターの排出基準が厳しいことは分かるが、ごみ収集車の排ガスは測定

	しているのか。 知りませんでしたでは済まない問題である。
②	1時間当たり20台程度のごみ収集車が来るとのことだが、1日にすると凄い台数になるのではないか？
③	1日当たり120台程度のごみ収集車が来るとのことだが、帰りもカウントすると2倍の240台の通行となる。
④	1日当たり120台程度のごみ収集車は分散して来るとのことだが、分散しても排気ガスの量は変わらない。
⑤	煙突から排出するダイオキシン量よりも、120台程度のごみ収集車から排出するダイオキシン量のほうが多いのでは？
⑥	県道臼井印西線（岩戸地区の候補地の直近幹線道路）は、現状で凄い交通量だが、それに加えて相当数のごみ収集車が通行することになるので、その点を踏まえるべき。
⑦	県道臼井印西線は振動が凄く余り良い道路ではない。 また、通学路なのに歩道が全線的に整備されておらず、子供達にとって危険である。
⑧	現状だと各地から来るとごみ収集車は、分散することなく県道臼井印西線に集中してしまう。
⑨	道路の混雑度、交通安全、自動車排ガスについても環境影響評価を実施することだが、建設候補地を決定する前に実施しないと意味がない。
⑩	岩戸地区で決定した場合、県道臼井印西線は、凄く交通量が多いにも関わらず、更に交通量が増えてしまうが、車の排ガス対策を考えているのか？
⑪	幹線道路なのだから交通量が増えることを我慢するという考えはない。
5. 整備計画に関すること	
①	財政が逼迫しているという説明があったが、移転すると用地買収や道路整備が必要になるので、現在地のほうが素人から見ても事業費が安いような気がする。 移転するメリットはあるのか？
②	温水センターの取り扱いが明確に決まっていなければ、現在地で建替えても何ら問題なく、移転をする意味はない。
6. 地域振興事業に関すること	
①	岩戸の候補地から千葉ニュータウンまでの道路を新設するのか？
②	万が一、岩戸地区が建設地になった場合、現状に加えてかなり交通量が増えるので、ただ我慢するというのではなく、国道464号線に至る新設道路を検討して欲しい。
③	地域振興事業の説明はリップサービスに聞こえるが、約束は出来ないということか？
④	移転した場合、要望に応じて温水センターは新規に移転地で整備するのか？

7. その他

①	リサイクル回収したペットボトルの3割程度は、結局燃やしてしまうと聞いたことがある。
②	資料1ページに記載されている現計画の白紙撤回について、この表現だと9住区の白紙撤回と取れるが、実際は現在地も白紙撤回の範疇である。 また、用地検討委員会では現在地を候補地の1つとして残すべきとしたのであれば、それらの経緯を資料に加えたほうが良い。